



普通高等教育“十五”国家级规划教材

# 日语写作教程

于日平 主编



高等教育出版社  
HIGHER EDUCATION PRESS

普通高等教育“十五”国家级规划教材

# 日语写作教程

---

主编 于日平

编者 张慧芬 戴秋娟 孙容成 曹 星



高等教育出版社  
HIGHER EDUCATION PRESS

### 图书在版编目(CIP)数据

日语写作教程 / 于日平主编. —北京: 高等教育出版社, 2004. 7 (2005 重印)

ISBN 7-04-014353-4

I. 日... II. 于... III. 日语 - 写作 - 高等学校 - 教材 IV. H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 059352 号

策划编辑	祝大鸣	责任编辑	李 炎
封面设计	刘晓翔	版式设计	孙 伟
责任校对	李 炎	责任印制	宋克学

---

出版发行	高等教育出版社	购书热线	010-58581118
社 址	北京市西城区德外大街 4 号	免费咨询	800-810-0598
邮政编码	100011	网 址	<a href="http://www.hep.edu.cn">http://www.hep.edu.cn</a>
总 机	010-58581000		<a href="http://www.hep.com.cn">http://www.hep.com.cn</a>
		网上订购	<a href="http://www.landaco.com">http://www.landaco.com</a>
			<a href="http://www.landaco.com.cn">http://www.landaco.com.cn</a>
经 销	北京蓝色畅想图书发行有限公司		
印 刷	蓝马彩色印刷中心		
开 本	850 × 1168 1/16	版 次	2004 年 7 月第 1 版
印 张	16.75	印 次	2005 年 4 月第 2 次印刷
字 数	450 000	定 价	28.00 元

---

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号 14353-00

本书获日本国际交流基金会出版资助

## 前 言

写作能力是一种综合的语言能力。随着中日两国在政治、经济、科学技术、社会生活、文化等各方面交流的日益发展和深入，在实际工作和交往中对外语写作的需求越来越大，要求越来越高。但是在外语教学中，作文课一直是个弱项。这是因为对中国学生来说，外语写作不仅需要掌握文章的形式，还需要具备很高水平的语言表达能力和广泛的知识，以及根据不同需要选择、构造不同文章形式的写作能力。本书立足于用外语写作这一根本点，将提高语言表达能力和掌握文章形式两个方面有机地结合，力图通过以语言片断为中心的各种框架形式的练习，提高学生的语言表达能力，同时，通过对某一特定文章形式的实际运用，提高内容组合以及写作技巧等综合能力，以能更好地服务于实际生活中的语言活动。

外语教育以掌握听、说、读、写、译五个技能为目标。写作训练一般都安排在读(精读课)、听(听力课)、说(会话课)等基础教育之后。也就是说，只有在学生完成了基础教育，掌握了一定的词汇量和相当的语言知识之后，作文课才能有效地进行。这不但说明读解能力、听解能力、会话能力和写作能力之间的有机联系，而且还对作文课提出了一个目标，这就是通过写作的实践，进一步巩固以往学过的知识，使各种知识成为一个整体，为实际生活中的文章写作服务。有效的作文教育应当是语言表达手段和文章形式的高度统一。

用外语写好文章需要具备两种能力，一种是正确的外语表达能力；另一种是根据不同需要正确运用各种文体以及构建文章结构的能力。作文课应当兼顾这两种能力的培养。也就是说，使学生不仅能运用已经学到的语言知识自由地、正确地表达出自己想说的一切，而且还应掌握日常生活和工作中常用的文章形式，根据需要写好各种文章，达到文章写作的预期目的。

为此，本书将语言表达方式复习和实际文章写作实践贯穿于全书各课中，并且通过语言片断(段落 paragraph)为框架的模仿练习以提高语言表达能力，同时结合日常的学习和工作练习各种文章的写作，求得学生写作能力的提高。本书中语言表达手段的复习内容，是大学基础阶段学习过的词汇和语法知识以及我们认为必须掌握的语言现象，而文章形式设定为与日常生活和工作密切相关的记事文、信件、通知、说明书、内容大意归纳文、简单的演讲、建议和感想文等。在编写时，我们尽量使每课内的具体文章写作能够与所复习的语言表达形式有机地结合。但是，每种文体和语言表达形式有时很难融为一体，我们不得不在第15课和第16课中，将没有涉及到的语言表达形式综合在一起介绍。

在综合考虑了语言表达能力和作文技巧以及文章形式的基础上，将本书结构设置为三篇16课，分别为入门篇(2课)、基础篇(12课)、完成篇(2课)。在入门篇的2课中，学生们将学习用日文写作时必备的语言知识、文章表达方式的特点、写作时首先应当注意的地方。在基础篇中，每课均分成两个部分：第一部分为语言表达方式复习，其内容是把基础阶段学过的知识按照语言表达功能进行分类，对表达意思相近的不同用法加以简明扼要的说明；第二部分为写作实践，介绍日常生活中的某一种特定文体的作用及其形式和构成。各课的“练习”以语言片断为框架模式，在复习语言表达方式的同时，进行段落模仿写作练习，然后结合该课

介绍的特定文章形式进行写作实践，以达到掌握语言表达手段和提高写作具体文章的综合能力的目的。在完成篇的2课中，考虑到当前就职和工作的实际需要，主要以使用较多的广告宣传文和自我介绍、致词、演讲文的写作为中心，分析几种文体的不同用途以及不同的语言表达形式和结构。

本书是“普通高等教育‘十五’国家级规划教材”。本书的内容和练习手段基于作者长期从事外语教学的经验和研究，充分考虑到了中国学生外语写作时的弱点和解决方法。使用对象设定在完成了基础阶段学习后的本科生2年级、大专毕业生，或者有4~5年的日语学习经历者，时间为1个学期。为了实际的写作需要，本书中的语言使用设定在书写接近实际生活和工作的文章上，即接近于会话语言的文章用语言。通过本书的学习，达到学生们能很好地书写日常生活和一般工作中所必需的各种文章的目的。本书的后续教材为《日语高级写作教程》。

本教科书由于日平策划和确定框架，于日平写1、2、6、15、16课，张慧芬写3、8、13课，戴秋娟写4、7、11课，孙荣成写5、9、10课，曹星写12、14课。最后，由于日平进行统稿和确定。华中科技大学的陈俊森教授和日本国际交流基金的日语教育专家筱崎摄子女士审读了本书，并提出了宝贵的意见。

本教科书在编写和出版过程中一直得到了高等教育出版社外语出版中心的祝大鸣副主任以及日语工作室的陈薇女士、李炎女士的全力支持和帮助，在此表示衷心的感谢。

本教科书在策划和先期调查、编写过程中得到了日本国际交流基金制作事业课的各方面的大力支持和帮助，并获得出版资助。

主编 于日平  
2004.5.13

## 前書き

作文力は、総合的な力である。現在、中日両国の交流は政治をはじめ、工業生産、科学技術、貿易、社会生活、文化往来、観光及び私的交際などの各方面にわたり、仕事や交流において日本語を使って文章を書く必要が高まり、作文力が強く求められている。しかし、作文教育は、外国語教育の中で常に弱い所である。これは、中国の学生にとって、外国語による作文は文章形式の習得にとどまらず、高レベルの言語運用能力と優れた知識力及び必要に応じて異なる文章形式と構造を選択できる作文力が要求されているからである。本教科書では、言語表現能力の向上と文章形式の習得の統一に重点を置き、ポイント繋ぎによる段落再構成を特徴とする練習を通じて学生の日本語力を高めると同時に、特定の文章作成の実践を通じて語学力、知識力、文章形式の習得という総合的な力を身に付けさせ、よりよく日常生活や仕事の必要に答えられるようにしている。

外国語教育において、読む、聞く、話す、書く、訳すという5技能を身に付けさせるのが目標として掲げられている。文章を書く訓練は、基礎教育を終えた学生が受けるものとして位置づけられているが、確かにある程度の語学力と知識力がなければ、文章を書くことができない。言い換えれば、読む(読解の授業)、聞く(ヒヤリングの授業)、話す(会話の授業)の教育を通じて身に付けられた言語運用能力と知識力を基礎にして初めて作文の授業が効果的に行われ得るのである。これは、言葉の運用における読解力、聴解力、会話力、文章力が有機的に結びついているものであることを証明すると同時に、作文授業の教育目標を示しているものでもあると理解される。つまり、作文授業を通じて、これまでに勉強したものを再確認してシステム化し、日常生活や仕事における文章活動に役立てようということである。効果的な作文教育は、まさに言語運用能力と文章形式習得の高レベルの統一にほかならない。

外国語で文章を書くにあたり、二つの知識が必要とされる。一つは、外国語を使って自分の言いたいことを正しく表現できる言語表現能力であり、もう一つは、必要に応じて正しく使いこなす各種文章の形式及び文章構築の能力である。作文授業は、外国語で各種の文章を書き、言いたいことを相手に正しく伝え、コミュニケーションを行うという目的を達成するために、言語表現力の強化と文章形式の習得の両方に力を入れてやらなければならない。そして、書くという練習を通じて、これまでに勉強した言語知識を使って、自由にかつ正しく言いたいことを表現できるようにすると同時に、日常生活や仕事によく使われる特定の文章の書き方も心得て、必要に応じて文章を書くという目標に達するように努めるべきである。

そのために、本教科書においては、言語運用能力と文章形式習得を統一させるべく、基礎編の各課に言語表現復習と作文実践という二つの部分が設けられており、練習の所では、段落の再構成と特定の文章作成という練習を通じて、文章力の上達を図ることにしている。



本教科書に予定される言語表現復習部分の内容は、大学の外国語教育ガイドラインに規定される基礎段階の語学勉強内容と、日常生活や仕事のための文章作成に必要とされる表現に基づいて設定し、文章形式の習得は、日常生活や仕事によく使われるはがきや手紙、通知、記述文、説明仕様書、要約文、スピーチ、レポート、意見文などを中心としている。次は、本教科書の構成及び使われ方について簡単に説明する。

本教科書は、16課からなっており、そして、形式と内容、語学力と作文技術など各角度から総合的に考えた上で、さらに導入編2課、基礎編12課、完成編2課の三つの部分に分けられている。導入編の2課では、文章を書くにあたり、前もって身に付けておくべきと思われる作文に必要な知識や書き言葉の特徴、注意すべきところなどを勉強する。基礎編の12課では、各課にはさらに言語表現復習と作文実践という二つの部分がある。具体的には、①言語表現復習部分では、基礎段階で学んだ日本語の表現が機能別に分類され、分類された表現を作文の必要に応じて各課に振り分けて紹介し、使い分けのあるものは説明する。②作文実践部分では、日常生活や仕事によく使われる文章タイプの一つを取り上げ、その役割や形式、構成などを勉強する。③最後の練習では、復習した表現が含まれる言葉の一まとまり（段落・文段・パラグラフ）をモデル枠組みとし、モデル枠組をいくつかのポイントに分解して、ポイント繋ぎの方法によって段落を再構成させる練習を行う。その上で、あるタイプの文章作成と結び付けさせて作文実践を行い、文章力の向上に努めることにする。完成編では、昨今の就職や仕事の必要を考慮に入れ、主に普段よく使われる広告文と自己紹介・スピーチ文の書き方を中心に、この二つの文章の用途や構造を分析し、基礎編で再確認されながら取りあげられなかった表現を使って実際に広告文と自己紹介・スピーチ文を書く練習を行う。

本教科書は、中国教育部の「普通高等教育『第10回5ヵ年計画』の国家級企画教材」であり、日本語作文教科書の上編である。本教科書の内容構成と練習方法は、長年日本語教育に従事してきた著者が経験と研究に基づき、中国の学生の欠点を補い、作文力の向上を図るために考案したものである。使用者は、大学の基礎段階の教育を終えた学部2年生、短期大学の卒業生、または4～5年の日本語学習経験者を対象とし、学習期間は1学期とする。作文の実情を考慮して、教科書上編での使用言語は、日常生活と仕事に必要な文章作成に限定されているため、会話用言葉遣いに近い文章用言葉が使われている。本教科書の勉強を通じて、学生が日常生活と仕事に必要な文章が書けるようにするというのは目的である。

本教科書の編集方及び構成と各課の内容の振り分けは、于平日が担当している。于平日は第1、2、6、15、16課を書き、張慧芬は第3、8、13課を書き、戴秋娟は第4、7、11課を書き、孫容成は第5、9、10課を書き、曹星は第12、14課を書いた。最後に、于平日は原稿の統一都確定を行った。華中科技大学の陳俊森教授と日本国際交流基金の日本教育専門家の篠崎慎子先生に、本教科書を閲読していただき、貴重なご意見をいただきました。

本教科書の編集を出版に老いて、ずっと高等教育出版社外国語出版センタの祝大鳴副主任及び日本語室の陳薇女子、李炎女子から温かいご支持をいただき、ここで心から感謝の



意を表す。

本教科書は、企画や前期調査、編集などにおいて日本国際交流基金製作事業課に援助を受け、また、日本国際交流基金から出版援助を受けた。

作者 于日平

2004.5.13

# 目 录

## 入门篇

第1课	写作注意事项	
	书写简洁的句子 .....	2
	文章中常用的各种标点符号及其功能 .....	9
	练习 .....	11
第2课	写作中的基本语法知识	
	自动词和他动词的区别 .....	18
	一些格助词的特殊用法 .....	20
	主题的“は”和主格的“が” .....	22
	指示代词的用法 .....	25
	练习 .....	27

## 基础篇

第3课	说明文 文章中常见的说明句	
	文章中常见的说明句 .....	36
	说明文 .....	41
	练习 .....	44
第4课	意见文和感想文 推测和推断	
	常用的表示推断的形式 .....	52
	意见文和感想文 .....	57
	练习 .....	59
第5课	注意事项 条件句和条件限定句	
	条件句和条件限定句 .....	66
	日常生活中注意事项的书写 .....	72
	练习 .....	74



第6课	内容大意归纳文 直接引用·转述和归纳	
	文章中直接引用和转述的形式及其功能	80
	内容归纳文的写作	84
	练习	87
第7课	书信 意志·愿望等的表达方式	
	意志、愿望、计划、打算等的表达形式	96
	书信的写法	101
	练习	105
第8课	使用说明和记事文 操作顺序与时间有关的表达形式	
	表示事物和动作发生的先后关系、顺序、次序以及操作步骤的表达形式	112
	商品和设施的使用说明以及报道事件的记事文	117
	练习	119
第9课	调查问卷 因果句与目的句	
	表达因果关系和目的关系的各种形式	126
	调查问卷的做法	131
	练习	135
第10课	对比文 并列与比较	
	并列和列举、比较和对比的表达形式	142
	各种对比文的写作	147
	练习	149
第11课	履历书和入学申请书 逆接	
	表示转折和否定的各种形式	156
	个人简历及入学志愿书的写作方法	163
	练习	166
第12课	通知 定义·话题	
	表示定义和提出话题的形式	172
	通知	175
	练习	177
第13课	传真和电子邮件 添加·间隔	
	表示添加·间隔的形式及其功能	184
	电子邮件、传真的写法	187
	练习	191



第 14 课	明信片 资格·立场·手段·材料	
	资格、立场、手段、材料的表达形式 .....	198
	明信片的写法 .....	203
	练习 .....	205

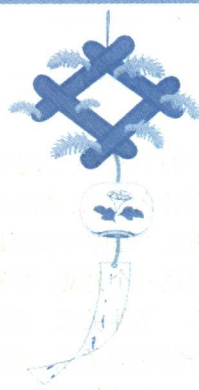
**完成篇**

第 15 课	宣传广告文 .....	211
第 16 课	自我介绍和致词 .....	219

<b>参考答案</b>	.....	227
-------------	-------	-----

<b>参考文献</b>	.....	249
-------------	-------	-----

# 第 1 课 写作注意事项



- 书写简洁的句子
- 文章中常用的各种标点符号及其功能
- 练习



写文章就是使用文字准确地向对方传达自己的想法、认识、意见、要求等。为了达到这个目的，写文章时就应当，①写好每一个句子，使每个句子传达的意思都非常明确；②句子和句子的连接关系清楚，内容有连贯性；③几个句子连接起来构成一个表达完整意思的群体，有明确的阐述主题和重点。在写作的初期阶段，我们首先应当学习写好句子，尽可能地写一些结构简单、意思明确的短句。

本课将通过分析常见的病句介绍书写简单明了的短句时应当注意的事项；然后通过大量的练习，使学生掌握写作的最基本要领；最后，简单介绍一下文章中写中常用的符号和功能。

## 一、书写简洁的句子

句子的书写有三个原则：明确(clear)、正确(correct)、简洁(concise)。也就是说，明确自己有什么想法、想说什么，运用能正确表达自己意思的语言形式，简洁明了地向对方阐述。那么，怎样才能写出简洁明了、表达意思明确的短句呢？必须注意以下3点：(1)一个句子传达一个意思，特别是在基础阶段练习写作时，要避免多重不同意思的组合(比如：因果关系、条件关系、目的关系、并列关系等等)同时在一个句子中出现；(2)句子中的主语和谓语的呼应关系、修饰和被修饰的关系明确；(3)句子结构简单，尽可能地避免用谓语结构句子作为修饰成分，避免修饰成分过于复杂，句子中的各个修饰成分尽可能名词化。下面就上述三点进行说明。

### 1 一个句子传达一个意思

写作时，由于想说的事情很多，总想面面俱到，所以句子往往写得很长，关系很复杂。为了写出简明扼要的句子，应当遵照一个句子传达一个意思的宗旨，尽可能不写长句，不写有多层关系的复杂句子。一般来说，一个句子的字数应在40字以内，每个句子控制在一个或者两个关系层内。下面的两个例句，由于把几个不同的意思混和在一个句子中，句中的各个成分之间关系复杂，使要表达的意思变得很含糊，读起来令人费解。(×表示病句)

- ×① 大学食堂の一階は禁煙なので空気がきれいで、二階は禁煙していないから、私は行ったことがない。
- ×② このたびあなたの年金恩給について、年額が改定されましたので新しい恩給証書または互助年金証書をお渡しますから、このはがきの発行の日から一週間以降に、このはがきと現在お持ちになっている恩給証書または互助年金証書をお持ちになって当局においでになってください。







例①中想说的有三层意思，第一层是对比，就是“一階は禁煙であること”和“二階は禁煙していない”。第二层是因果关系，就是由于“禁煙をしているかしていないか”，“一階は空気がきれいだ”和“二階は空気が汚い”。第三层是行为的理由，“空気の汚い二階には、自分には行かない”。这个句子可以分为两句，即对比为一句，因果为一句。在因果和行为的的关系上，可以是“タバコが嫌いだから行かない”，也可以是“空気が汚いから行かない”。这样，分成两个句子就可以使因果和行为的的关系更加明确。

- ・大学食堂は、一階は禁煙であるが、二階は禁煙していない。私は、タバコが嫌いだから、二階には行ったことがない。
- ・大学食堂は、一階は禁煙なので空気がきれいだが、二階は禁煙していないから、空気が汚い。それで、私は二階には行ったことがない。

例②句中也有三层意思，第一层是介绍“このたびあなたの年金恩給について、年額が改定されました”；第二层是通知“新しい恩給証書または互助年金証書をお渡しします”；第三层是领取时的注意事项“このはがきの発行の日から一週間以降に、このはがきと現在お持ちになっている恩給証書または互助年金証書をお持ちになって当局においでになってください”。可以把这个句子分成3个短句。

- ・このたび、あなたの年金恩給の年額が改定されました。新しい恩給証書または互助年金証書をお渡しします。このはがきの発行の日から一週間以降に、このはがきと現在の証書をお持ちになって当局においでになってください。

当然，尽可能地写短句并不是说句子越短越好，而要看句子是否已经传达了一个相对完整的意思。有一种错误的看法，认为句子断了，传达的内容也就结束了。其实，句子和句子的连接，正反映了每个句子表达意思的连贯性和不断的深化。请看下面的一段文章。

- × おととい、幼なじみの女の子に会った。五年ぶりだった。彼女は駅前で、迎えの車を待っていた。私たちの大学生活、彼女の今の仕事のことなど話し合った。

这段文章很令人费解。其难解之处在于各个句子的动作主体不断变更，句子和句子的内容没有连贯性。比如，第1句中“会った”的人是我，第2句中“五年ぶりに再会した”的是我们，第3句中“車を待っていた”的人是她，而第4句中“話し合った”的是我(我们)。如果有一个共同的视点(叙述事情的角度)，这些句子就有了内容的连贯性，各个句子和这段话就很容易理解。下面的三个例句用“我(第一人称)”的视点统一了各个句子。

- ・おととい、駅前で幼なじみのAさんに会った。高校を卒業してからずっと会っていない。五年ぶりだった。「迎えの車を待っている」というので、少し立ち話をした。私の大学生活、彼女の仕事のことなど話し合った。
- ・おととい、駅前で迎えの車を待っていた幼なじみのAさんに会った。高校卒業以来五年ぶり







の再会だった。車が来るまで、少し立ち話をした。私の大学の生活、彼女の仕事のことなど話し合った。

- ・おととい、駅前で五年ぶりに幼なじみのAさんに会った。彼女は迎えの車を待っていたので、車が来るまで、すこし立ち話をした。私の大学生活や彼女の仕事のことなど話し合った。

句子和句子在内容上要有连贯性。想表达的意思,从内容的连接上来说可以有不同的方向。在初期阶段,为了做到一个句子传达一个意思,可以采用在内容的转换处切断句子,根据不同内容使用接续词连接的写法。

文章和会话不同,由于没有场景的帮助,更需要有一个统一的视点,以保持句子和句子在内容上的连贯性,句子内容的连贯性可以反映文章的逻辑性。重视每个句子传达意思的完整,把握好句子和句子之间的联系——递增、转折、让步、归纳、解释等,有效地使用好表达这些关系的接续词和短语,这样写出的语言片断(段落)才能做到句子意思明确,句子和句子意思连贯、逻辑性强,主题和重点清晰,为文章的构成打下基础。请比较下面的文章和改写后的文章。

- × 人生には、様々な生き方があって当然であるから、他人がどう見ようと、自分で提起した問題を解決するために全力を尽くすことに人生の意義がある。多元化し多様化した価値観に直面すると、人々は迷い、悩み、その悩みの中から人間は自分自身の運命を自分で選ばなければならない。主体的に生きなければならないのだ。一生のうちで選択と決断を迫られたとき、主体的な決定が私たちの人生を悔いのないものにするのだ。

- ・人生には、様々な生き方があって当然である \_\_\_\_。他人がどう見ようと、自分で提起した問題の解決に全力を尽くすことに意義がある。しかし、多元化し多様化した価値観に直面すると、人々は迷い、悩む \_\_\_\_。そして、その悩みの中から人間は自分自身の運命を自分で選ばなければならない。つまり、主体的に生きなければならないのだ。一生のうちで選択と決断を迫られたとき、主体的な決定が私たちの人生を悔いのないものにするのだ。

## 2 主语和谓语呼应, 修饰关系明确

为了使书写的句子简洁明了,句子的主谓关系和修饰关系必须明确。常见的错误有两种:(1)主语和谓语不呼应;(2)修饰关系不明确。句子很长、主语和谓语由于距离太远因而不能呼应、修饰关系不明确的文章,使读者难以理解。下面举一些常见的病句。

### (1) 主语和谓语不呼应

#### A 主语和谓语不统一

- ×① 自転車通学のいいところは経済的である。
- ×② この食堂のいいところはご飯のおかわりができる。
- ×③ この説明書の問題点は、カタカナ語が多くて分かりにくい。





- ×④ 日本に来て一番困ったことは、言葉が困った。
- ×⑤ 私の考えは、このような規則はよくないと思う。

“いいところ”“いい点”“問題点”“困ったこと”都说的是“什么事”或者是“什么样的事”，所以谓语部分应当是名词或者具有名词性质的成分。在例句①～③中加上“～ことである”，把例④的谓语改写成名词就可以了。另外，例句⑤中，如果保留“私の考え”则必须用名词结句，如果要保留句尾的“思う”，就应当改写成“私は”。

- ① 自転車通学のいいところは経済的なことである/経済的だということである。
- ② この食堂のいい点は、ご飯を何杯もおかわりができることである。
- ③ この説明書の問題点は、カタカナ語が多くて分かりにくいことである。
- ④ 日本に来て一番困ったことは言葉である。
- ⑤ 私は、このような規則はよくないと思う。  
私の考えでは、このような規則はよくない。

除了“ことである”能使谓语部分名词化外，“ということである”也经常使用。

- ×⑥ この選挙で分かっているのは、日本のように候補者の名前を書いて投票するのは、田舎だけで、都市などのように、人口の多い町では、投票所に投票機という機械がおいてあって、投票する人は、自分の選びたい人の名前の所にあるハンドルを、ガチャンと押すだけでよい。
- ×⑦ こうした仕事を15年も続けてきて、つくづく思うことは、良縁を得るカギは結局本人が自分の価値を冷静に知るのだ。

- ⑥ この選挙で分かっているのは、日本のように候補者の名前を書いて投票するのは、田舎だけで、都市などのように、人口の多い町では、投票所に投票機がという機械がおいてあって、投票する人は、自分の選びたい人の名前の所にあるハンドルを、ガチャンと押すだけでよい(ということである)。
- ⑦ こうした仕事を15年も続けてきて、つくづく思うことは、良縁を得るカギは結局本人が自分の価値を冷静に知る(ということだ)。

#### B 句子中的主语或者谓语的呼应方不明确

日语是以谓语为中心的语言(区别于以主谓结构为中心的英语等)，但是，这并不是说谓语可以不与主题和主语呼应。如下面的句子缺少动作主体，读者需要根据各个分句描述的不同事情，不断变换动作主体才能理解，所以文章非常难懂。这类文章比比皆是。

- ×① 米軍爆撃機編隊の中の一機を撃墜し戦死者が出ると、それから三日間ぐらい、残りが連日仲間の弔(とむら)い合戦にやってきて、爆撃をし花束を投下していく。
- ×② このため腹を立てた同部(野球部)二年生A(17)、同B(17)、同C(16)の三人は、キャッチャーマスクを預かって、しまい場所を忘れた一年部員16人を野球部室に集め「たるんでいる」と三人を殴りつけ、うち一人が耳のコマクにけがをした。

